

あなたと活かす みんなで育む 歴史と教育のまち 本庄
～ 世のため、後のため ～



この学校便りでご案内している講座の申込みは終了しています。
市民総合大学の講座の申込みは、毎年「広報ほんじょう3月号」でご案内しております。



月を愛でよう

旧暦8月15日（十五夜）に見える月を「中秋の名月」と呼び、今年は9月17日です。また、旧暦の9月13日（十三夜）に見える月を「後（のち）の月」と呼び、10月15日がその日にあたります。「中秋の名月」を眺める風習は中国から伝わったものですが、十三夜の月を愛でる風習は日本で生まれたものです。

中秋の名月では、里芋をお供えすることから「芋名月」と呼ばれるに対し、後の月ではこの頃に収穫される栗や枝豆をお供えするため「栗名月」や「豆名月」とも呼ばれています。お団子やすすきなど秋の七草も飾って、秋の夜長にのんびりとお月さまを眺めたいですね。

みなさんは「月虹」を知っていますか？「月虹」は昼間に太陽が作り出す虹と同じように、月の光が空気中の水滴によって屈折や反射することで虹ができる現象です。

月虹がよく観測されるハワイ諸島では「ムーンボウ」と呼ばれ、これを見た者には「幸せが訪れる」と言われているそうです。

日本でも、石垣島や群馬県のぐんま天文台などで観測されたことがあるので、運が良ければ、見られるかもしれませんね。

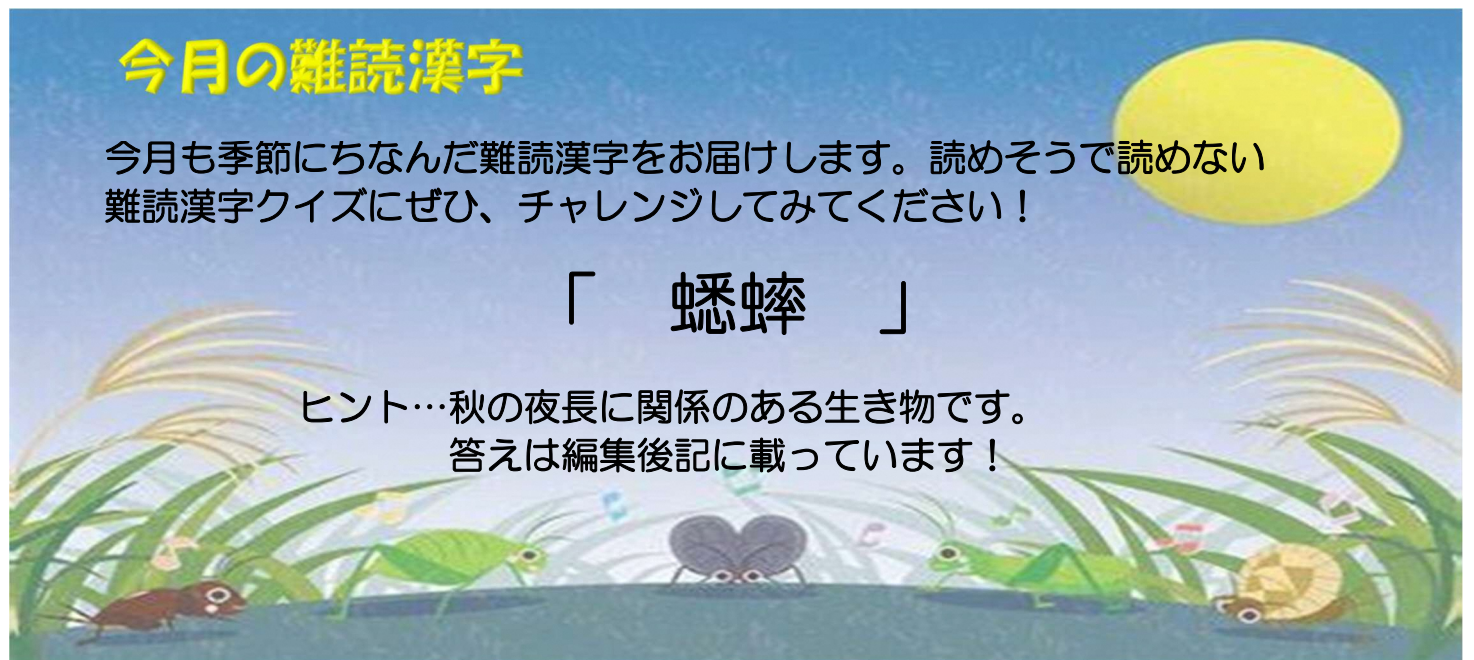


今月の難読漢字

今月も季節にちなんだ難読漢字をお届けします。読めそうで読めない難読漢字クイズにぜひ、チャレンジしてみてください！

「 蟋蟀 」

ヒント…秋の夜長に関係のある生き物です。
答えは編集後記に載っています！



屋内・屋外の講座に関わらず
水分補給のお飲物をお持ちください



月1回受講コース

会場：グローバルソフトウェア本庄文化ホール

第4回 9/5（木）午前10時～
ダイバーシティって何？



第5回 10/10（木）午前10時～
山岳信仰と修験



自然・科学分野

41. 私たちにとっての“カーボンニュートラル”とは？
～地球温暖化への対応と省エネ生活の推進～（全3回）
<3回目>9月7日（土）午後1時30分～
会場：リサーチパーク レクチャールーム1



生活・福祉分野

5. 人生100年時代にむけて
～食生活・健康づくり・環境問題についてお伝えします～（全3回）
<1回目>9月9日（月）午後2時～
会場：リサーチパーク レクチャールーム1



6. 暮らしの中の製品事故（全1回）
<1回目>9月17日（火）午前10時～
会場：リサーチパーク レクチャールーム1



お願い

参加費、材料費等が必要な講座を直前でキャンセルする場合は、参加費、材料費等の徴収をお願いする場合がありますのでご了承ください。参加費、材料費は、1回目の講座で集金をします。都合でお休みする場合は、必ず事前に本庄早稲田国際リサーチパークまで連絡をお願いします。

歴史・文学分野

12. 本庄市の社寺仏閣、歩いて学ぶ身近な歴史

～本庄方面を中心に～（全3回）

※運動のできる服装でご参加ください。

<1回目>9月12日（木） 午前9時30分～

集合：若泉運動公園(元市民プール駐車場)

<服装・持ち物など>

飲み物、汗拭きタオル、歩きやすい服装、履きなれた靴、リュックサックなど両手が空くバッグ。雨天時は雨具等ご用意ください。



14. 百人一首と百人秀歌

～最新の研究を踏まえて～（全4回）

<1回目>9月20日（金） 午後1時30分～

<2回目>9月27日（金） 午後1時30分～

会場：リサーチパーク レクチャールーム1



健康・運動分野

31. ボッチャに挑戦！（全1回）

※運動のできる服装でご参加ください。

<1回目>9月14日（土） 午後2時30分～

会場：カミケンシルクドーム サブアリーナ

<持ち物>体育館シューズ（上履き）



32. ボッチャに挑戦！（全1回）

※運動のできる服装でご参加ください。

<1回目>9月21日（土） 午後2時30分～

会場：カミケンシルクドーム サブアリーナ

<持ち物>体育館シューズ（上履き）



芸術・工作分野

23. 大人のための埴輪作り（全4回）

<1回目>9月24日（火） 午後1時～

<2回目>9月25日（水） 午後1時～

<3回目>9月26日（木） 午後1時～

会場：セルディ 美術工芸室

<材料費> **3,000円**

<服装・持ち物など>汚れてもよい服装、タオル、雑巾



<10月上旬の講座> **しおいを確認し、忘れずに受講しましょう!**

15. サピエンス史から見た武道と武士道

～人間と戦争～（全4回）

<1回目>10月2日（水） 午前10時30分～

<2回目>10月9日（水） 午前10時30分～

会場：リサーチパーク レクチャールーム1

12. 本庄市の社寺仏閣、歩いて学ぶ身近な歴史

～本庄方面を中心に～（全3回）

<2回目>10月3日（木） 午前9時30分～

集合：本庄公民館駐車場

<服装・持ち物など>

飲み物、汗拭きタオル、歩きやすい服装、履きなれた靴、リュックサックなど両手が空くバッグ。雨天時は雨具等ご用意ください。

14. 百人一首と百人秀歌

～最新の研究を踏まえて～（全4回）

<3回目>10月 4日（金） 午後1時30分～

<4回目>10月11日（金） 午後1時30分～

会場：リサーチパーク レクチャールーム1

編集 後記

難読漢字の正解は「こおろぎ」です。（「きりぎりす」と読むこともあります。）『万葉集』に「蟋蟀（こおろぎ）」が出てくるほど古くから文学にも登場し、秋に鳴く虫の総称としても使われていました。平安時代頃に「きりぎりす」と呼ばれるようになったので、長らくこおろぎときりぎりすの区別が曖昧でした。そのため、童謡『虫のこえ』の2番は当初「きりきり きりきり きりぎりす」でしたが、のちに「きりきり きりきり こおろぎや」に変更されています。

秋に虫の声に耳を傾ける風流な遊びは、実は平安時代から続き、「虫聞き」と呼ばれていました。虫の奏でを肴に酒宴を催し、季節の移り変わりを楽しんでいたそうです。その習慣はやがて庶民にも広がり、江戸時代には虫をカゴに入れて売り歩く「虫売り」という商売が成立したほどの人気でした。

虫たちが奏でる優しい声を聴いていると、穏やかな気持ちになります。秋の夜長、月を眺めたり、虫の声に耳を傾けてみたりしてはいかがでしょうか。



リサーチパーク HP
学校便り

<本庄市市民総合大学 企画・運営>

公益財団法人 本庄早稻田国際リサーチパーク 倉林・花房・木村

TEL 0495-24-7466 FAX 0495-24-7465

携帯電話 080-6436-6212

※講座当日の欠席等の連絡は携帯電話へお願いします!

E-Mail shidai@howarp.or.jp

